

第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが

②評価調査者研修修了番号

SK2024163
H19-045
H19-047

③施設名等

名称：	佐賀清光園
施設長氏名：	西村 明純
定員：	24名
所在地(都道府県)：	佐賀県
所在地(市町村以下)：	佐賀市呉服元町5番18号
T E L：	0952-23-3295
U R L：	https://sagaseikouen.wixsite.com
【施設の概要】	
開設年月日	1901/9/15（財団法人 佐賀孤児院の名称で発足）
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 佐賀清光園
職員数 常勤職員：	21名
職員数 非常勤職員：	5名
有資格職員の名称（ア）	社会福祉士
上記有資格職員の人数：	7名
有資格職員の名称（イ）	社会福祉主事
上記有資格職員の人数：	6名
有資格職員の名称（ウ）	臨床心理士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	調理師
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（オ）	保育士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	
施設設備の概要（ア）居室数：	17室
施設設備の概要（イ）設備等：	ショートステイ室・アフターケア室
施設設備の概要（ウ）：	地域交流スペース
施設設備の概要（エ）：	医務室兼心理療法室

④理念・基本方針

創建当時の仏教精神を忘れることなく、子どもが安心して生活できる環境の下で、児童憲章・児童福祉法等に示される基本的人権を尊重し、心身ともに健全に発達し「明るく・正しく・仲良く」生活できる人間になるように養育する事に努める。

⑤施設の特徴的な取組

- ・毎朝夕に施設に隣接する本堂にておつとめを行い報恩の心を育む。
- ・毎食前に食前の言葉を述べ食物に対する感謝の心を育む。
- ・種々の仏教行事を通して、明るく・正しく・仲良い生活をおくるよう指導する。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2025/9/24
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2026/1/9
前回の受審時期（評価結果確定年度）	令和4年度（和暦）

⑦総評

【特に評価の高い点】

○ 職員の養育・支援の質の向上に向け、職員の意向・希望等も考慮して施設内外の各種研修・講習等の機会を活用して職員の教育・研修に取り組まれており、また、全職員が交替で研修課題や必要に応じて外部講師の選任・依頼をして開催する毎月の施設内研修会も実施されている。

○ こどもを尊重した養育・支援の実施を理念・基本方針で明確にし、職員研修、職員会議等で認識を深め、実践に努められており、定期的な実践状況の把握、自己評価実施による振り返り・気づきの機会の確保など職員の認識・情報の共有化に努められている。

○ こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見については、就業規則等の諸規程類の整備とともに、養育・支援の実践の対応マニュアル等で明確にされ、職員への教育・研修、職員会議や朝礼等での振り返りチェックがなされている。また、こどもたちに対しても、何時でも、誰に対しても訴えることができることの周知・徹底に努められている。

○ 自立支援計画は各担当職員、心理療法師、家庭支援専門相談員等の専門職員等が合議し、児童相談所や学校など関係機関、保護者等の意見・要望も聴取し、こどもの心身の状況や生活の様子とともに意見・要望も把握し適切に策定されている。計画の評価、見直しも適切に行われている。

○ 「明るく・正しく・仲良く」生活するとの考えの下、こどもたち一人ひとりが健康の保持や衛生管理を初めとする基本的な生活習慣を習得できるよう養育・支援に努められている様子が見て取れる。

○ 調理室である程度調理したものを各フロアに運び、各フロアのダイニングルームでこどもたちと一緒に調理して食事する方法が採られており、おやつづくり等とともに調理技術の習得、団欒の場となっている。中・高生の部活動等の生活時間に配慮した食事時間の確保、提供にも配慮されている。

○ 居室は、中学生以上は個室利用を原則とし、発達段階に応じて整理・整頓、清掃等の生活習慣の確立に向けて支援されている。共用スペースについても、グループ当番等による整理整頓、清掃がなされ、安心・快適な居場所づくりに取り組まれている。

【改善を求められる点】

○ 社会的養育推進計画の動向など大きな変化がみられる中で具体的な数値目標などを設定することは困難な面もあるが、今後とも、福祉政策の動向等に注視し、中・長期計画の見直しも行いながら目標年次や具体的な成果等の設定など実施状況の分析・評価を行える計画の策定を期待したい。

○ 職員の就業状況の把握、健康診断等の健康管理とともに職員面談による意見・要望等の把握など働きやすい職場づくりに取り組まれている。今後とも、福祉人材の確保・定着の取り組みとともにワーク・ライフ・バランスに配慮したより一層働きやすい職場づくりへの取り組みを望みたい。

○ 実習生の受け入れについては学校と連携して実習プログラムに基づき実施されているが、実習生受け入れに関する基本姿勢、研修・育成に関するマニュアルが明文化されていないので、その明文化を求めたい。

○ ボランティアの登録、注意事項等文書のボランティアへの配布・説明など受け入れに際しての手順等も踏まえ、学習支援のボランティアなどの継続的な受け入れがなされているが、ボランティア受け入れに対する基本姿勢並びに実施されている受け入れ手順等のマニュアルが明文化されているとは言い難いので、その明文化が望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

○施設の取り組みをきちんと評価して頂きありがとうございました。努力すべき点や改善すべき点がありましたので、改善に取り掛かろうと思います。

⑨第三者評価結果（別紙）

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】	
理念・基本方針は明文化され、パンフレットやホームページで公表・周知されるとともに、職員研修や職員会議等で周知されている。子どもの自治会や各種行事等の際に説明・周知に努められている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> こどもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】	
施設長は、全国児童養護施設協議会や地方自治体の社会福祉関係団体の役職員として全国の状況や地域情勢の把握に努め、施設経営に当たられているが、国や地方自治体の施策により、子どもの利用率の動向等は大きく変化してきていることから今後とも引き続き一層の状況把握・分析に努められるよう期待したい。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	a
<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】	
経営環境や経営課題について理事会や職員会議等で議題として報告・論議する等役職員全体で周知に努められ、小規模グループケアやグループホームの増設等の課題の進展に向けて取り組まれている。	

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	<p>4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>社会的養育推進計画の動向など大きな変化がみられる中で具体的な数値目標などを設定することは困難な面もあるが、今後とも、福祉政策の動向等に注視し、中・長期計画の見直しも行いながら目標年次や具体的な成果等の設定など実施状況の分析・評価を行える計画の策定を期待したい。</p>		
②	<p>5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>中・長期計画を踏まえて単年度計画が策定されているが数値目標等の設定が無く実施状況の評価を行える内容の計画とは言い難い。当該年度の予算案との関係なども踏まえながら数値目標等も設定する等実施状況の評価を行える単年度事業計画の策定が望まれる。</p>		
(2) 事業計画が適切に策定されている。		
①	<p>6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>事業計画は職員会議や朝礼等の機会を利用して職員の意見・要望等を取り入れながら施設長を中心に作成し、実施状況の把握・分析も同様に行われている。今後とも、実施状況の把握・評価ができるような事業計画の内容の充実とともに評価結果に基づく計画見直しに向けた取り組みの展開に期待したい。</p>		
②	<p>7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>

【コメント】

年間の行事計画を中心に、子どもに対して年度当初及びその都度説明・周知するとともに、保護者に対しても来園や各種行事の案内、参加呼びかけの際に連絡されている。今後とも、事業計画の内容を分かり易く説明した資料の作成など保護者に対する周知に向けた取り組みの充実に期待したい。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
① 8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
□組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
□養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
□定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
□評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

第三者評価や自己評価の定期的な実施、職員会議等での論議・検討が随時行われる等組織的な取り組みがなされている。

② 9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
□評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
□職員間で課題の共有化が図られている。	○
□評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
□評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
□改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

評価結果については職員会議等で報告・論議され、取り組むべき課題等については改善に向けた取り組みがなされている。しかし、評価結果の分析結果や取り組むべき課題、その改善策等についての文書化等が十分なされていないと言えないので、その徹底が望まれる。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。	第三者 評価結果
① 10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
□施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
□施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
□施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
□平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

施設長は自らの役割と責任を認識して施設の経営管理に臨まれており、職務分掌等を初めとする諸規程等で明確化されている。また、職員会議や研修等を通じて職員に対する周知・理解に努められている。

② 11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
□施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○

<input type="checkbox"/>	施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は、施設経営責任者として各種会議や研修・講習会等に参加し、施設経営に関する法令の把握・理解に努めるとともに職員会議等で職員への周知、適切な業務運営・処理に取り組まれている。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員の養育・支援の質の向上に向け、職員の意向・希望等も考慮して施設内外の各種研修・講習等の機会を活用して職員の教育・研修に取り組まれている。また、全職員が交替で研修課題や必要に応じて外部講師の選任・依頼をして開催する毎月の施設内研修会も実施されている。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は、施設の理念・基本方針の実現に向けて、経営状況の分析、人材の確保・配置、働きやすい職場環境づくりに向け取り組まれている。また、職員アンケートや面談による意見・要望の把握、職員会議等での職員への周知・理解を深める取り組みがなされている。

2 福祉人材の確保・育成

(1)	福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
<input type="checkbox"/>	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	
<input type="checkbox"/>	施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

必要な福祉人材の確保・育成に努められ、学校訪問、実習生や職場見学の受け入れ、福祉人材センター等の関係機関・団体の利用など幅広く採用活動をされている。しかし、人材確保が困難な状況が続いており、今後とも取り組みの継続を望みたい。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

毎年1回及び必要に応じて随時の職員アンケート及び面談の実施など職員の意向や意見・要望等の把握とともに人事考課も実施されている。しかし、昇進・昇格等に関する人事基準が明確に定められているとは言い難いのでそれらの明確化が望まれる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人管理体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

職員の就業状況の把握、健康診断等の健康管理とともに職員面談による意見・要望等の把握など働きやすい職場づくりに取り組まれている。今後とも、福祉人材の確保・定着の取り組みとともにワーク・ライフ・バランスに配慮したより一層働きやすい職場づくりへの取り組みを望みたい。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	○

【コメント】

定期的な職員の自己評価の実施による振り返り・気づきの機会の確保、職員との個別面談による意見・要望等の把握など職員個々の育成に向けた取り組みがなされている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

施設が目指す養育・支援を実施するための期待する職員像が明示され、職員個々の意向等も考慮しながら研修・教育計画が定められ実施されており、受講者からの報告や他職員への伝達・情報の共有化にも努められている。しかし、定期的に研修内容や研修計画の評価・見直しがなされているとは言い難いので定期的な評価・見直しの実施を望みたい。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	○

【コメント】

新任職員、幹部職員、専門職員、職種別などそれぞれに施設内外の研修の機会確保に努めるとともに、施設長や基幹職員、専門職員、外部講師の招聘など職員の教育・研修の機会の確保に努められている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

実習生の受け入れについては学校と連携して実習プログラムに基づき実施されているが、実習生受け入れに関する基本姿勢、研修・育成に関するマニュアルが明文化されていないので、その明文化を求めたい。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
---	-------------------------------	---

<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	○
<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の有存在意義や役割を明確にするように努めている。	○
<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	○

【コメント】

理念・基本方針等については施設や全社協のホームページで公開され、年2回発行の広報紙の関係機関・団体等への配布とともに、第三者評価の受審、苦情相談に関する体制や対応状況についても公開されている。今後とも、地域社会に対して法人の役割等を認識・理解していただくための、こうした透明性の高い取り組みが継続されることを期待したい。

②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	○

【コメント】

会計・経理、取引事務等に関する諸規程類が整備され、それらに基づき適切に事務処理がなされており、内部監査はもとより、外部の会計事務所による月例の検査、財務状況の確認が行われ指導助言を受けられている。

4 地域との交流、地域貢献

(1)	地域との関係が適切に確保されている。	第三者 評価結果
①	23 こどもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	
	<input type="checkbox"/> こどもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設やこどもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々のこどものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(児童養護施設)	
	<input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	

【コメント】

地域のこども会やクラブ活動がなされていない地域事情の中で、こどもたちは校区での活動や公民館活動等に参加するとともに、施設として地域の清掃ボランティアなどの活動を続けられている。しかし、友人等の施設への来訪など施設内外での相互交流がほとんど無い状況にあり、地域との関わり方についての基本的な考え方を明確にして、こどもと地域との交流を広げる取り組みの充実を期待したい。

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対してこどもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【コメント】
ボランティアの登録、注意事項等文書のボランティアへの配布・説明など受け入れに際しての手順等も踏まえ、学習支援のボランティアなどの継続的な受け入れがなされているが、ボランティア受け入れに対する基本姿勢並びに実施されている受け入れ手順等のマニュアルが明文化されているとは言い難いので、その明文化が望まれる。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々のこどもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、こどものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

小学校の校区連絡会を初め関係機関・団体との連携が図られ、随時協議の場も設けられており、情報の共有化も図られている。今後とも、関係機関・団体等とのネットワークの充実・強化が図られることを期待したい。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○
	(社会的養護共通) <input type="checkbox"/> 施設のもつ機能を地域へ還元したり、地域の関係機関・団体との連携等を通して、地域の具体的な福祉ニーズの把握に努めている。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業などを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。	

【コメント】

関係機関・団体や校区連絡会等に参加し、地域の福祉ニーズや困りごとなど生活課題の把握・相談に応じるとともに、施設の多目的ホールの地域の方々の会合等への利用開放もされている。今後も引き続き、相談事業など公益的活動の取り組みの展開を期待したい。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

施設の近隣の清掃活動や多目的ホールの地域の方々の利用、防災・災害時の相互支援など幅広い取り組みが展開されている。今後とも、施設が保有する養育・支援に関するノウハウや専門知識を活用した相談や情報提供等の活動展開を期待したい。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 こども本位の養育・支援

(1) こどもを尊重する姿勢が明示されている。

第三者
評価結果

①	28 こどもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、こどもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

こどもを尊重した養育・支援の実施を理念・基本方針で明確にし、職員研修、職員会議等で認識を深め、実践に努められており、定期的な実践状況の把握、自己評価実施による振り返り・気づきの機会の確保など職員の認識・情報の共有化に努められている。

②	29 こどものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> こどものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりのこどもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、こどものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【コメント】

プライバシー保護に関する諸規程類が整備され、研修、職員会議等で周知・理解が図られており、実践活動の振り返りの機会も設けられている。プライバシー保護についての保護者への説明・周知と取扱いに関する同意書の提出、こどもたちへの説明・周知とともに日常生活の中での支援実践に努められている。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 こどもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定のこどもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	○

【コメント】

施設の概要はホームページやパンフレットで情報提供がなされ、希望に応じて施設見学にも対応されている。入所に際しては、こどもや保護者等に対しパンフレットや園のしおり等を配布・説明し、個人情報の保護等の必要な同意書の取り交わしもなされている。

②	31 養育・支援の開始・過程においてこどもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> こどもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、こどもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、こどもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難なこどもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	○

【コメント】

養育・支援の開始・実施に当たっては、子どもや保護者等に対し、その理解力、入所に至った経緯等に配慮しながら、園のしおりや権利ノート等より説明がなされ必要な同意書の取り交わしがなされている。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	

【コメント】

施設退所に際しては、児童相談所と連携して情報の共有と支援の継続に努め、子どもや保護者等に対して、退所後の相談方法や職員の訪問や面談の実施などの自立支援の取り組みの情報や自立支援活動を展開している地域活動団体（NPO）の情報等を説明し、その利活用を促している。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

子どもからの相談、個別面談は定期及び随時に応じるとともに、毎月の子どもの自治会や年1回の子どもアンケート、「お願いボックス」への投書など子どもたちが自由に意見・要望等を述べるようにされている。把握された意見・要望等については職員会議等で論議・検討され、できるものについては対応されている。今後は、意見・要望等の内容によっては、子どもの自治会での論議に投げかけるなどの方法も検討が望まれる。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】
 苦情対応規程に基づき、責任者の設置、第三者委員を含めた委員会の設置がなされ、その体制・仕組みについては施設内に掲示・公開されている。また、子どもや保護者等からの苦情や要望については、施設内の「お願いボックス」への投書や職員への申し出とともに児童相談所等の外部の機関・団体に提出することもできることを周知されており、適切に対処されている。

②	35	子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
		<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
		<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】
 施設内の「お願いボックス」の活用、担当職員に限らずいずれの職員にも相談できることや学校の先生や児童相談所等の外部の機関・団体への提出もできることを周知するとともに、プライバシーにも配慮した個室の利用など環境づくりにも配慮されている。

③	36	子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
		<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
		<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。		

【コメント】
 子どもからの相談等に対しては、職員会議等での論議・検討がなされ、対応状況のケース記録への記載など適切に対応されている。しかし、これら一連の取扱い手順等についてはマニュアル等で明文化しておくことが望まれる。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。			第三者 評価結果
①	37	安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	b
		<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	
		<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
		<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
		<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
		<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
		<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○

【コメント】
 緊急時の対応マニュアルが作成され、職員や子どもたちに周知されるとともに、定期的な避難訓練や防災訓練も実施されている。ヒヤリ・ハット事例報告・分析検討もなされているが、リスクマネジメント委員会の設置等組織全体を通じた体系的な取り組み体制の明確化が望まれる。

②	38	感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
---	----	--	---

<input type="checkbox"/>	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

感染症対策マニュアルが整備され、予防及び発生時の対応等について研修会や職員会議等で周知・徹底されるとともに、学校や医療機関と連携してワクチン接種等の対策も適切に実施されている。

③	39 災害時におけるこどもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
<input type="checkbox"/>	災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策を講じている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体、学校、病院等と連携するなど、体制をもって避難訓練等を実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

消防や警察と連携した定期的な訓練とともに毎月の避難訓練の実施など安全確保のための組織的な取り組みが行われている。火災や風水害などの災害発生時の養育・支援を継続するための事業継続計画(BCP)策定に向けて論議・検討が進められているが、その早期策定が望まれる。

2 養育・支援の質の確保

(1)	養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
<input type="checkbox"/>	標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	標準的な実施方法には、こどもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【コメント】

県児童養護施設協議会で作成した援助指針を職員に配付・周知し、これを踏まえて養育・支援が実践されており、定期的実践状況の自己評価を行い振り返りの機会とするなど組織的に取り組まれている。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<input type="checkbox"/>	養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/>	検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>

【コメント】

標準的な実施方法については、毎年定期的に、また、必要に応じて随時見直しされており、見直しに際しては、職員の意見やこどもの心身の状況、自立支援計画の内容等を踏まえて検討されている。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、こども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、こどもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	○

【コメント】

自立支援計画は各担当職員、心理療法士、家庭支援専門相談員等の専門職員等が合議し、児童相談所や学校など関係機関、保護者等の意見・要望も聴取し、こどもの心身の状況や生活の様子とともに意見・要望も把握し適切に策定されている。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、こどもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

主任指導員を責任者として年2回の定期及びこどもの心身の状況の変化等に即して見直しが必要となった場合にはその都度、計画策定と同様に各関係職員が合議し、評価・分析を行い、関係機関や保護者等、こどもの意見等を把握しながら見直し・策定されている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 こどもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> こどもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】 養育・支援の実施状況は、パソコン端末を利用して記録・管理されており、指導員等関係者は随時に記録の閲覧・確認・修正等が可能となっている。記録データは定期的に印刷され、施設長、関係職員への回覧・決裁を経て、文書規程の定めに従い保存・管理されている。パソコン端末は、パスワードの設定、閲覧・記録の制限など適切に管理されている。		
②	45 こどもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、こどもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、こどもや保護者等に説明している。	○
【コメント】 個人情報保護規程、特定個人情報保護方針等が定められ、記録類の作成・保存・提供等の取り扱いについて明確にされ、職員への周知も図られている。こども達の写真撮影等の個人情報の保護・取扱いについても、保護者等に説明し、同意書により同意を得ている。		

内容評価基準（24項目）

A-1 こどもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) こどもの権利擁護		第三者 評価結果
①	A1 こどもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
	<input type="checkbox"/> こどもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	○
【コメント】 基本的人権の尊重を基本理念に掲げ、諸規程類が整備され、職員研修等で周知・理解を深め、実践状況についての振り返りの機会を確保する等徹底した取り組みがなされている。こどもの思想・信教の自由についても配慮されている。		
(2) 権利について理解を促す取組		
①	A2 こどもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	○
	<input type="checkbox"/> こどもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間でこどもの権利に関する学習機会を持っている。	○
	<input type="checkbox"/> こども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	○
	<input type="checkbox"/> 年下のこどもや障がいのあるこどもなど、弱い立場にあるこどもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	○

【コメント】

こどもたちの発達段階・心身の状況を踏まえ、権利ノートを活用し、自分を守り、他人を思いやり尊重する心を持って生活していくことを機会ある毎に説明され、日々の養育・支援の実践の中で取り組まれている。

(3) 生き立ちを振り返る取組

①	A3 こどもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> こどもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、こどもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> こども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、こどもの生き立ちの整理に繋がっている。	○

【コメント】

こども一人ひとりのアルバムを整理・作成し、こどもの発達段階を考慮しながら家族の状況について理解ができる中学生頃の時期を目途に振り返りの機会を設け、事後フォローにも配慮されている。施設入所の期間が短いこどもについては、ケース記録等の中に写真等の記録の収集・整理をする方法等の検討をされることを期待したい。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・こども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みが構築されている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、こどもに周知し、こども自らが訴えることができるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料をこども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、こどもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

こどもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見については、就業規則等の諸規程類の整備とともに、養育・支援の実践の対応マニュアル等で明確にされ、職員への教育・研修、職員会議や朝礼等での振り返りチェックがなされている。また、こどもたちに対しても、何時でも、誰に対しても訴えることができることの周知・徹底に努められている。

(5) 支援の継続性とアフターケア

①	A5 こどものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> こどもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、こどもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	<input type="checkbox"/> こどもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○

<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/> 夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

担当職員との関係性を重視し、日々の取り組みの中で子どもたちの基本的要求の把握・充足に努めるよう配慮されており、中・高生等のクラブ活動や学習塾通塾、アルバイトや就労支援へ対応等柔軟に対応されている。

③	A9 こどもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子ども自身が自らの生活を主体的に考え、営むことができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくつているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

こどもの自主性を尊重し、日々の生活パターンも多様な中で、見守る養育・支援に取り組まれている。

④	A10 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> こどものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> こどもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

こどもの発達段階に応じて遊具や図書類などが整備され、活用されている。学習指導ボランティアの毎週2日の受け入れ、子どもだけのお出掛けや園外での活動も支援されている。幼稚園等へ通園する子どもは現在はいないが、事例が生じた場合は通園の送迎・同行などの支援は行うこととしている。

⑤	A11 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

「明るく・正しく・仲良く」生活するとの考えの下、子どもたち一人ひとりが健康の保持や衛生管理を初めとする基本的な生活習慣を習得できるよう養育・支援に努められている様子が見て取れる。

(2) 食生活

①	A12 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	○

【コメント】

調理室で下ごしらえしたものを各フロアーに運び、各フロアーのダイニングルームで子どもたちと一緒に調理して食事する方法を採られており、おやつづくり等とともに調理技術の習得、団欒の場となっている。中・高生の部活動等の生活時間に配慮した食事時間の確保、提供にも配慮されている。

(3) 衣生活

①	A13 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	○
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	○
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	○
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	○

【コメント】

子どもの発達段階に応じた清潔な衣類の着用、洗濯や補修等の整理・保管、季節や活動場面に応じた衣類の選択など見守り支援がなされている。中・高生については、子ども自身が自分の嗜好に合わせて一定額内で購入する機会も設けられている。

(4) 住生活

①	A14 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	○
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	○

【コメント】

居室は、中学生以上は個室利用を原則とし、発達段階に応じて整理・整頓、清掃等の生活習慣の確立に向けて支援されている。共用スペースについても、グループ当番等による整理整頓、清掃がなされ、安心・快適な居場所づくりに取り組まれている。

(5) 健康と安全

①	A15 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○

【コメント】

嘱託医師による定期的な健診、歯科検診の実施とともに、子ども自身による毎朝の体温測定と記録記載など子ども自らが健康の保持・管理に努める意識の醸成に取り組まれている。服薬が必要な子どもの服薬管理についても適切に支援されている。

(6) 性に関する教育

①	A16 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	○

【コメント】

性教育に関しては、外部講師の活用もしながら、年齢別に勉強会を定期的で開催し、理解を深めるよう取り組まれており、日常生活の中で注意すべき言葉や行動・態度についても見守り、注意を促すよう目配りされている。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A17 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	○
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけておそうと努力している。	○

【コメント】

子どもの暴力、不適応行動ができるだけ生じないよう、職員研修や職員会議等で職員のスキル・アップと共通理解を深めるように努めるとともに、心理担当職員による随時の子どもとの相談、面談の実施、問題発生時には相談室等を活用してのクールダウン・タイムアウト方法等での対処など適切に対応されている。

②	A18 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	○

<input type="checkbox"/> 課題のあるこども、入所間もないこどもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、こどもがそれを感じ取れるようになっていいる。こども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> こども間の性的加害・被害を把握し適切に対応している。	<input type="radio"/>

【コメント】

自分の居室以外の他の居室には勝手に入室しないことを初めとして、こどもたちの意識を深める取り組みとともに、こども同士のトラブルの場面での複数の職員による対応など職員間の共通認識の下での見守り・支援に取り組まれており、児童相談所、医療機関等の関係機関との協力体制も整えられている。

(8) 心理的ケア

① A19 心理的ケアが必要なこどもに対して心理的な支援を行っている。	b
<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とするこどもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要なこどもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となるこどもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

心理担当職員による定期的なプレイセラピーの実施など支援プログラムにより支援が行われており、必要に応じて児童相談所や医療機関との連携も図られている。今後は、外部の専門職も活用したスーパービジョンを受ける体制づくりの充実が望まれる。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

① A20 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常にこども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 学力が低いこどもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、こどもに応じた支援をしている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 障害のあるこどものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

小学生を対象とした学習ボランティアの活用、中・高生については本人の希望も踏まえて学習塾への通塾などこどもに応じた学習支援がなされている。

② A21 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、こどもに判断材料を提供し、こどもと十分に話し合っている。	<input type="radio"/>
<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	<input type="radio"/>

<input type="checkbox"/>	児童自立生活援助事業、社会的養護自立支援拠点事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	○
<input type="checkbox"/>	進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	○
<input type="checkbox"/>	学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	○
<input type="checkbox"/>	高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	○
<input type="checkbox"/>	高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、積極的に措置延長を利用して支援を継続している。	○

【コメント】

進路の決定については、本人及び保護者、学校、児童相談所と話し合い、それぞれの目標に向かって進路設定できるよう支援されている。進学や資格取得等のための支援金等の情報の収集・提供、勉学・就労・生活維持を含めた相談、支援にも取り組まれている。

③	A22 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
<input type="checkbox"/>	実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	○
<input type="checkbox"/>	実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/>	実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	
<input type="checkbox"/>	職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	
<input type="checkbox"/>	アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	○

【コメント】

職場体験の機会ともなるアルバイトについては本人の希望に応じて勧められており、職場実習についてはブリックフォースマイル (NPO) と連携して取り組まれている。今後とも、職場体験や職場実習の機会拡大に向けた取り組みの推進を期待したい。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A23 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
<input type="checkbox"/>	施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	○
<input type="checkbox"/>	家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/>	面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	○
<input type="checkbox"/>	外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	○
<input type="checkbox"/>	子どもに関する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	○

【コメント】

家庭支援専門相談員を中心に職員が連携し、必要に応じて児童相談所等の関係機関を含めて支援方針を定めて、子どもや家庭、学校等と相談しながら家族との信頼関係づくりに取り組まれている。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A24 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
<input type="checkbox"/>	家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
<input type="checkbox"/>	面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○

児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。



【コメント】

親子関係の再構築に向けて、入所時から児童相談所等関係機関と連携し、支援計画に基づき家庭支援専門相談員を中心に家庭訪問による状況把握やアセスメント、相談・支援に取り組まれている。